

標 題 マークII、チェイサー、クスタ修理書／追補版内容訂正・追加のお知らせ

マークII、チェイサー、クスタ修理書／追補版（品番 62190 1998年8月発行）の内容に訂正・追加がありましたのでお知らせ致します。

部位 P EN-11 エンジンコントロールシステム

スロットルNo. 1センサーのECUデータモニターの参考値に誤りがありましたので訂正いたします。

訂正後)

S2000による点検

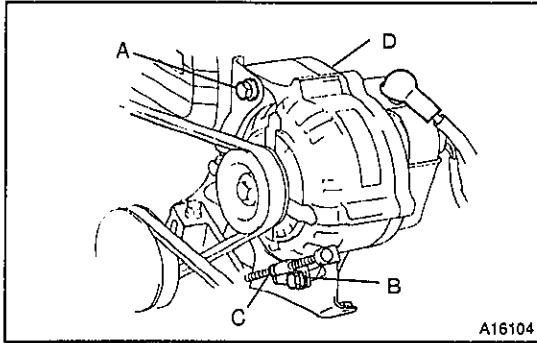
2. ECUデータモニター マークII
基準値 と

項目名	項目名解説	点検条件	参考値	異常時の主な点検項目
スロットル (No.1) センサー開度 (THPS)	スロットルNo.1センサーの開度を表す 表示範囲：0～100%	スロットルバルブ全閉時	8～16%	VC、VTA電圧
スロットル (No.1) センサー開度 (THPS)	スロットルNo.1センサーの開度を表す 表示範囲：0～100%	スロットルバルブ全開時	76～84%	VC、VTA電圧
スロットル (No.1) センサー開度 (THPS)	スロットルNo.1センサーの開度を表す 表示範囲：0～100%	スロットルバルブ全閉→全開	連続して変化	VC、VTA電圧

 部位 PEM-7 ファン&オルタネータVベルト調整

1G-FEエンジンのオルタネータスルーボルトが(8T→11T+表面処理)変更になりましたので、オルタネータスルーボルト用ナットの締付トルクを変更しました。 変更時期(2000/1月末生産車～)

変更後)



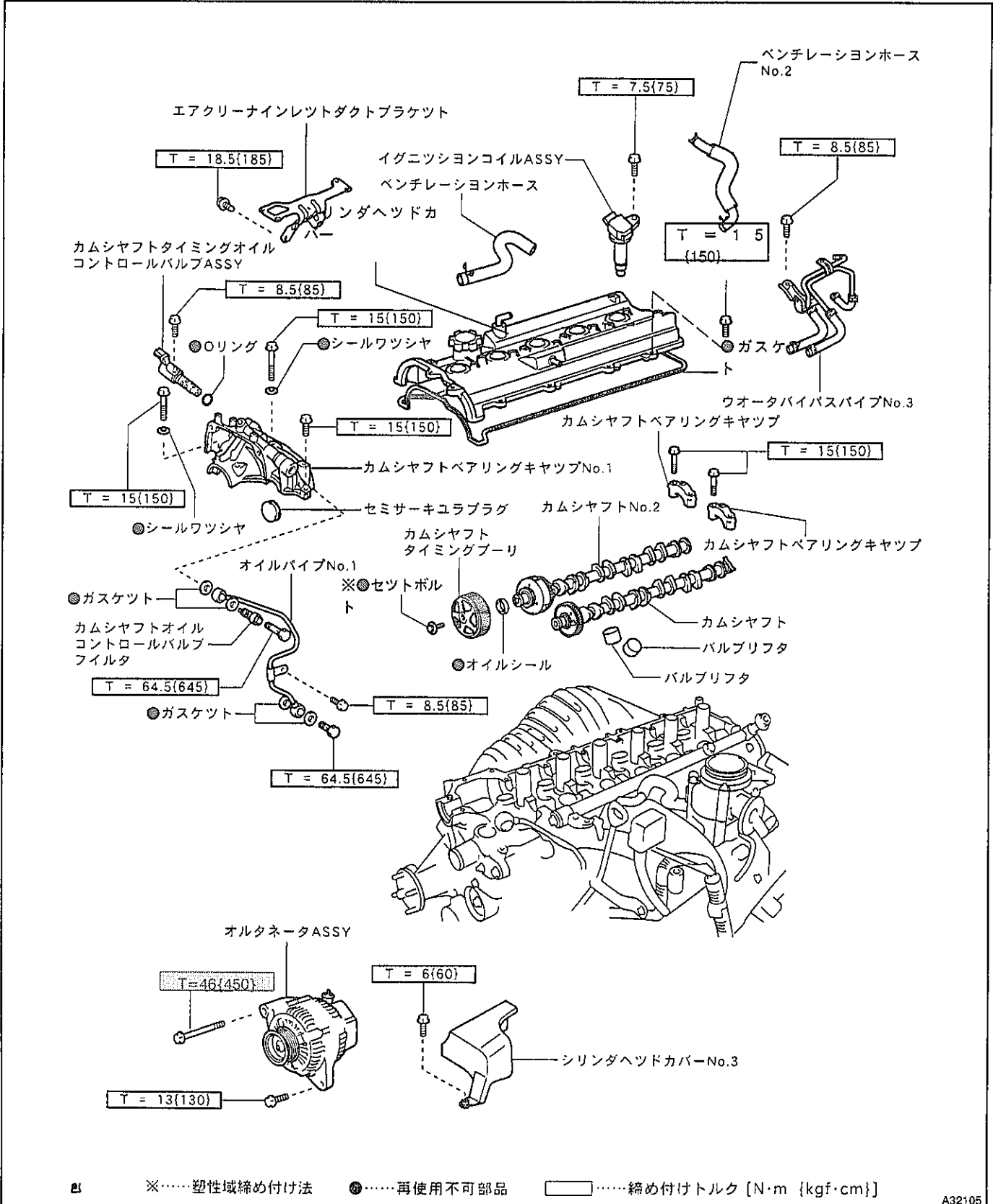
8. ファン&オルタネータVベルト調整

- (1) ボルトB、ナットDをゆるめる。
 - (2) ボルトAを仮締めする。
 $T=20.0\text{N}\cdot\text{m}$ {200kgf·cm}
 - (3) アジャスティングナットCを回して張力を調整する。
 - (4) ボルトBを締め付ける。
 $T=12.8\text{N}\cdot\text{m}$ {130kgf·cm}
 - (5) ナットDを締め付ける。
 $T=46.0\text{N}\cdot\text{m}$ {450kgf·cm}
- <注意>
 $T=37.0\text{N}\cdot\text{m}$ {365kgf·cm}以上の締付トルクを確保する。
- (6) ベルトの張力またはたわみ量を確認する。

部位
PEM-17バルブクリアランス 構成図 部変更

1G-FEエンジンのオルタネータースルーボルトが(8T→11T+表面処理)変更になりましたのでオルタネータースルーボルト用ナットの締めトルクを変更しました。

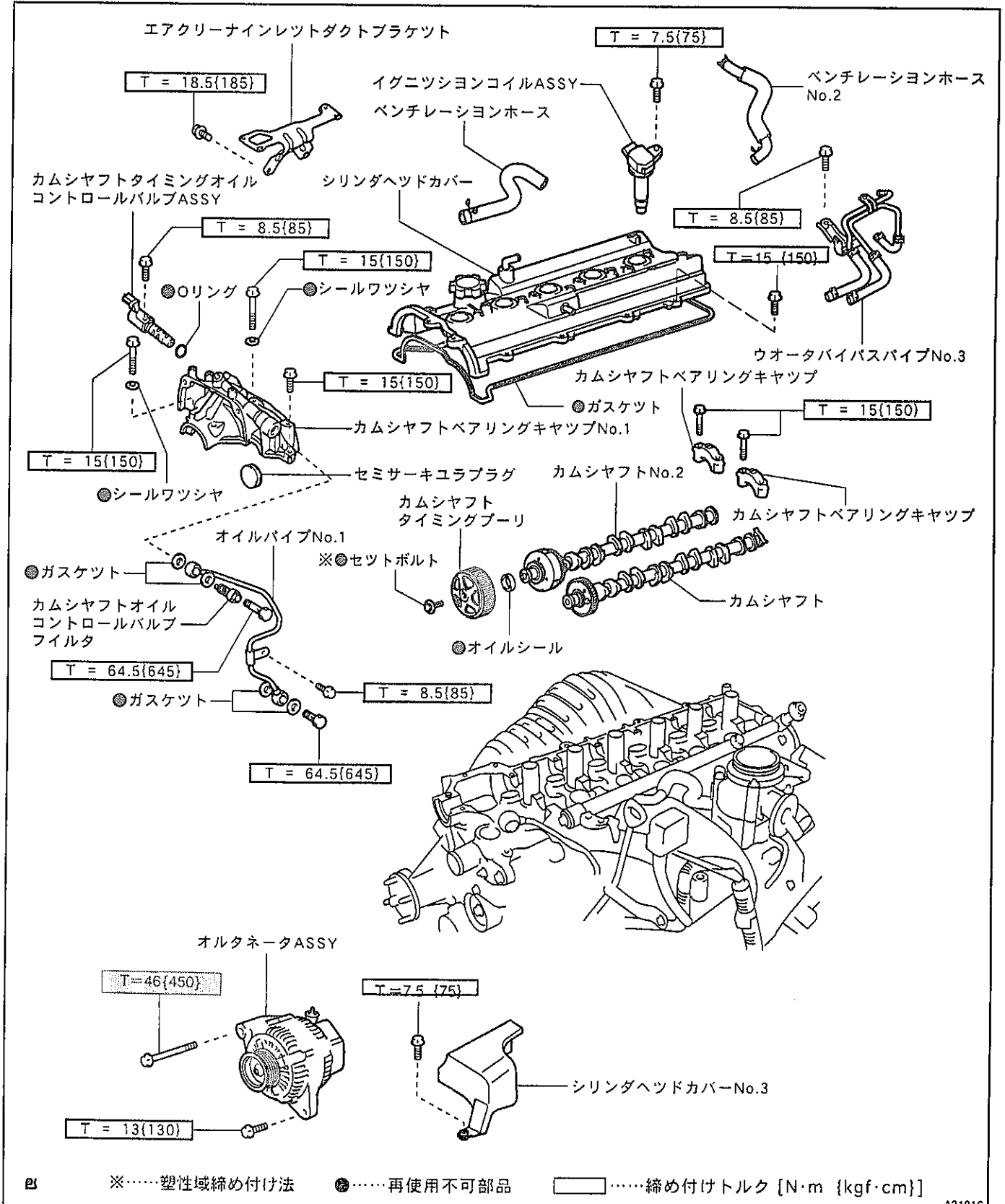
変更後)



部位
PEM-57 シリンダガスケット 構成図 部変更

1G-FEエンジンのオルタネータースルーボルトが(8T→11T+表面処理)変更になりましたのでオルタネータースルーボルト用ナットの締付トルクを変更しました。

変更後)



標 題

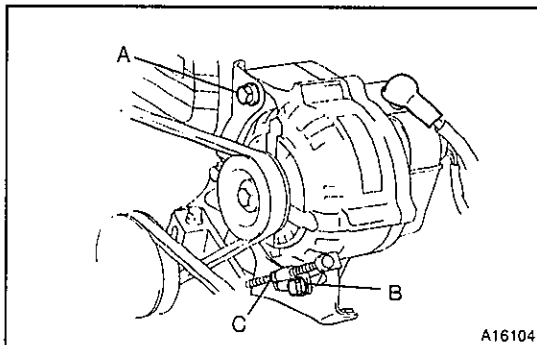
マークII, チェイサー, クレスタ修理書/追補版内容訂正のお知らせ
ファン&オルタネータVベルト調整

マークII、チェイサー、クレスタ修理書/追補版（品番62190 1998年8月発行）の内容に変更がありましたのでお知らせいたします。

部位 PEM-7 ファン&オルタネータVベルト調整 部変更

IG-FEエンジンのオルタネータスルーボルトが（表面処理）変更になりましたので、オルタネータスルーボルトの締付トルクを変更しました。 変更時期（2000/5月末生産車～、エンジンNo.IG6780837～）

変更後)



8. ファン&オルタネータVベルト調整

(1) ボルトB、ボルトAをゆるめる。

(2) ボルトAを仮締めする。

$T=20.0\text{N}\cdot\text{m}$ {200kgf·cm}

(3) アジャスティングナットCを回して張力を調整する。

(4) ボルトBを締め付ける。

$T=12.8\text{N}\cdot\text{m}$ {130kgf·cm}

(5) ナットAを締め付ける。

$T=46.0\text{N}\cdot\text{m}$ {450kgf·cm}

<注意>

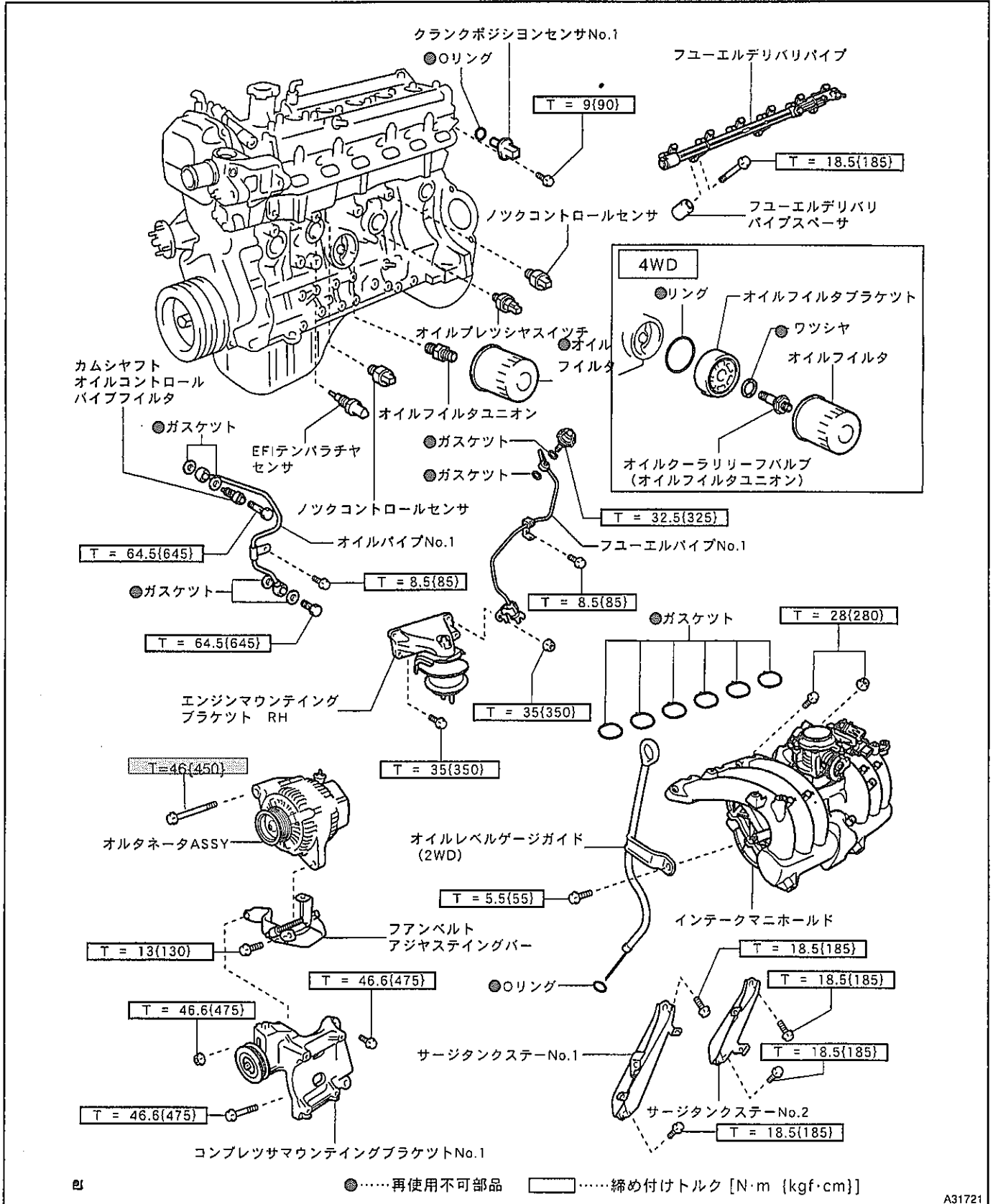
$T=37.0\text{N}\cdot\text{m}$ {365kgf·cm}以上の締付トルクを確保する。

(6) ベルトの張力またはたわみ量を確認する。

部位 PEM-1 1 パーシャルエンジンASSY構成図 部変更

1G-FEエンジンのオルタネータスルーボルトが（表面処理）変更になりましたのでオルタネータスルーボルトの締め付トルクを変更しました。

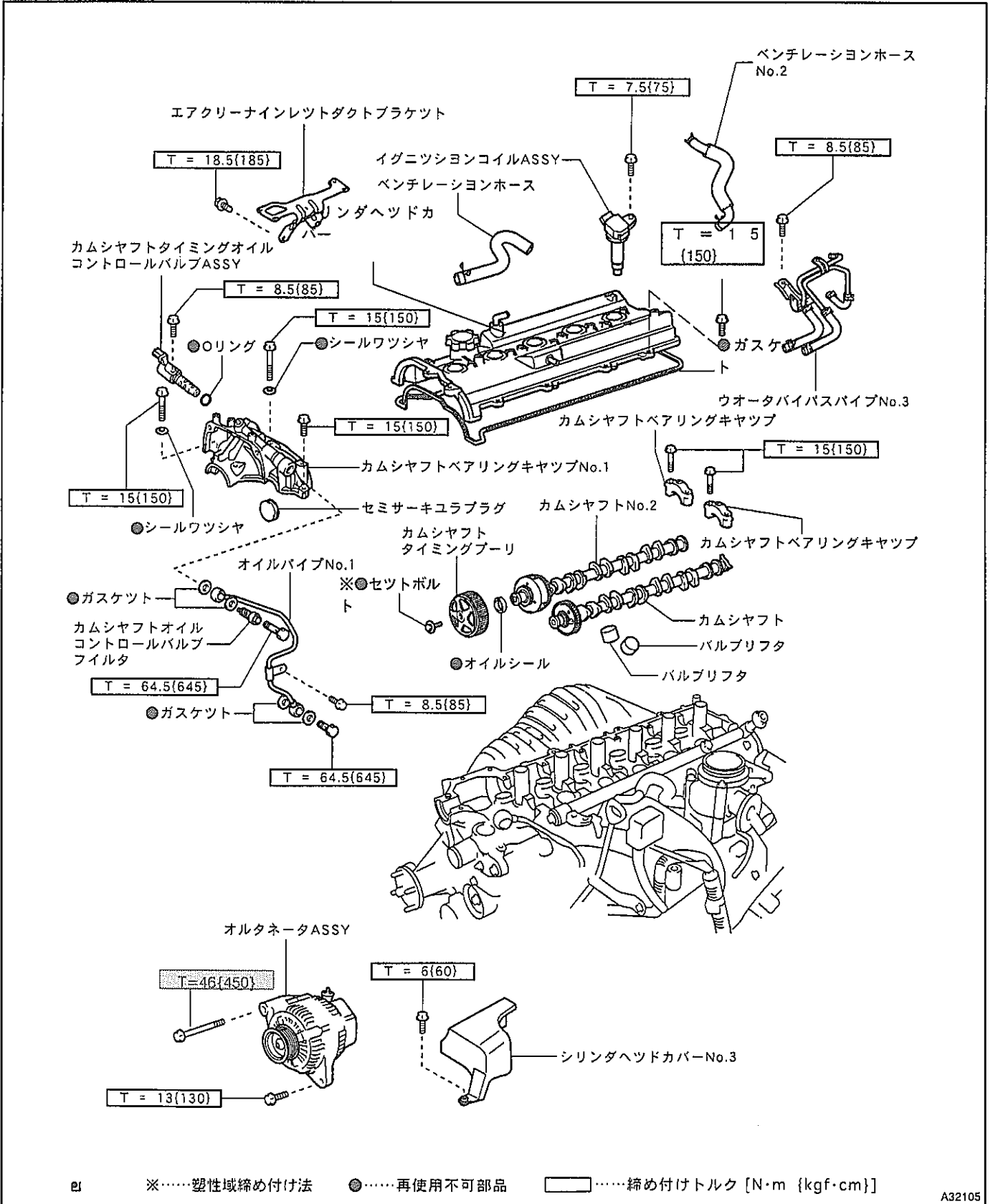
変更後)



部位
PEM-17バルブクリアランス 構成図 部変更

1G-FEエンジンのオルタネータースルーボルトが（表面処理）変更になりましたのでオルタネータースルーボルトの締付トルクを変更しました。

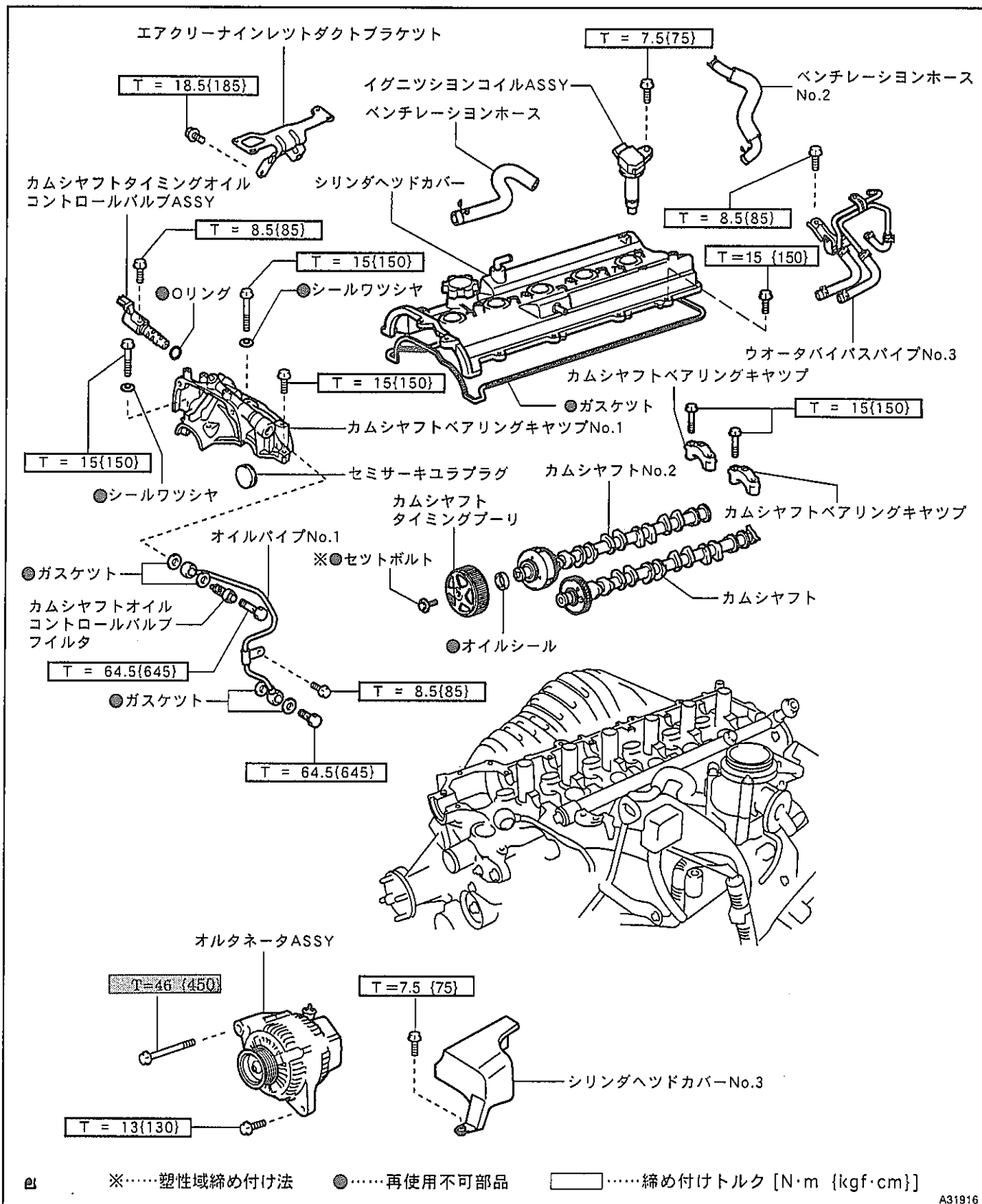
変更後)



部位
PEM-57 シリンダガスケット 構成図 部変更

1G-FEエンジンのオルタネータースルーボルトが(表面処理)変更になりましたのでオルタネータースルーボルトの締め付トルクを変更しました。

変更後)



GX10 #系

P、N、V店

標 題

マークII、チェイサー、クレスタ
1G-FE Vベルト調整要領訂正のお知らせ

マークII、チェイサー、クレスタ修理書／追補版（品番62190、1998年8月発行）に誤りがありましたので、訂正します

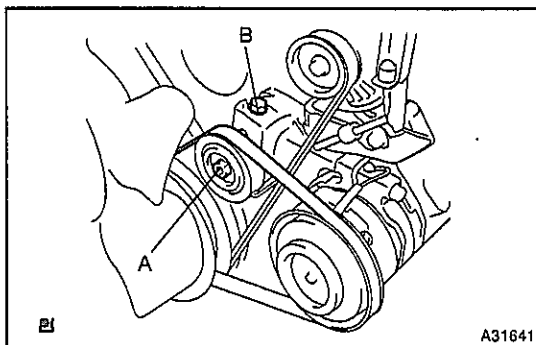
記

クーラーベルトの調整方法に誤りがありましたので以下のように訂正します。

部位 EM-7 エンジンメカニカル（1G-FE） — エンジンASSY — 点検、調整

点検、調整

訂正後)



訂正箇所

9. クーラVベルト(コンプレッサウクランクプーリ)NO.1調整
- (a) 固定用ナットAをゆるめた後、仮締めする。
基準値：T=2.45N・m {25kgf・cm}
 - (b) 調整用ボルトBを回して張力を締め側で調整する。
<注意>
ベルト調整はゆるめ側で調整作業を終了しない。
 - (c) 固定用ナットAを締め付ける。
基準値：T=39.2N・m {400kgf・cm}
 - (d) Vベルト調整完了後、調整用ボルトBを増し締めする。
基準値：T=2~4N・m {20~40kgf・cm}
<参考>
トルクレンチが使用できない場合、1/2回転増し締めする。
 - (e) Vベルト張力・たわみ量点検。

担当：サービス部技術・人材開発室
五味

(05617-4-4623)